



Letter from Edinburgh

2023年1-3月運用状況と ベイリー・ギフォード社 長期投資の視点

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)
愛称: ポジティブ・チェンジ

～ 長期投資をより深く知る ～ エディンバラからの便り

当ファンドはベイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資

*1 当ファンドの主要投資ファンドで用いられる運用戦略

2023年1-3月は、ポジティブ・チェンジ戦略の投資収益はプラスであり、目立った投資行動はほとんどありませんでした。また2023年1-3月は、企業と関わることで、企業をより理解するための多くの機会を得ました。

関心事

現在の関心分野の1つは銀行です。

ポジティブ・チェンジでは、人口の大部分が銀行口座を持たない地域で個人向け銀行サービスを提供するブラジルのヌー・ホールディングスとインドネシアのバンク・ラヤット・インドネシアの2つの銀行を組み入れています。また、幅広い顧客の住宅所有を可能にするインドの住宅ローン貸し手企業ハウジング・デベロップメント・ファイナンスも組み入れています。ヌー・ホールディングス、バンク・ラヤット・インドネシア、ハウジング・デベロップメント・ファイナンスは、2023年3月に経営破綻で注目を集めた米国のシリコンバレー銀行やシグネチャー銀行とは顧客層が大きく異なっています。組入企業は、シリコンバレー銀行やシグネチャー銀行などの経営不振に陥った銀行の影響は非常に限られているものの、企業の資金繰りがより困難になる可能性のある状況が、私たちが長期的に投資する企業にどのような影響を及ぼすかについて引き続き注視していきます。また私たちはより前向きに時間をかけて企業と面談し、世界の大きな課題に対処しながら、ビジネスの成長における進捗状況の理解に努めています。

組入企業との関わり(2023年1-3月)

テスラの2022年の純利益は約130億米ドルで、過去最高記録との報告を受け、私たちは2023年3月、テスラの投資家デーに参加しました。ちなみに、ポジティブ・チェンジ戦略では2017年の運用開始時からテスラを組み入れています。同社は当時赤字企業でした。また2017年の年間納車台数は約10万台でしたが、2022年では約130万台と大きく成長しています。テスラは電気自動車(EV)にとどまらず、ソーラーパネルおよびエネルギー貯蔵事業で進化を続けています。また、デンマークの2社で合併予定のノボザイムズとクリスチャン・ハンセン・ホールディングのさまざまな利害関係者(現在のCEOを含む)と多く対話しました。合併は2023年末頃に行われる予定であるため(規制当局の

承認が必要)、合併後の事業体が今後5~10年間で何を達成しようとしているのかを注意深く分析し、関連する運営上および企業文化上の統合の課題を理解するために時間をかけています。

新しい投資アイデアの発掘に向けて (2023年1-3月)

2023年1-3月の多くは、新しい投資アイデアの発掘に努めました。2月のインド訪問では、インドにおける医療へのアクセスに関する課題と金融包摂*2の進展の理解を深めました。インパクト・テーマの1つである「貧困層の課題解決」は、ポジティブ・チェンジにとって重要なテーマであり、私たちは世界の貧困層の人々を助ける新しい投資アイデアを積極的に探求しています。

*2 経済活動に必要な金融サービスをすべての人々が利用できやすくするよう
する取り組み

輸送手段の変化は、非常に興味深い投資機会を提供し続けており、私たちは内燃機関からの移行を加速するのに役立つ革新的な企業のいくつかを分析してきました。また、2月に米国のアトランタで開催されたHVAC(暖房、換気、空調システム)見本市にも参加しました。建物をより極端な天候に適応させる必要性が高まるにつれて、効率的で低炭素な手段で家や企業の暖房、冷房、換気等の空調を整えるためにHVACは不可欠だと考えています。このような革新的な企業と面談することによって、潜在的な投資機会の貴重な洞察が得られました。

結論

2022年のような厳しい市場環境では、私たちは投資家として一歩下がって、組入企業に与える影響と関連性を検討する必要があります。私たちの目的は、世界的社会的課題に対する解決をもたらす製品やサービスを提供する成長企業を見つけて所有することです。基本的に、社会に前向きな変化をもたらすことができる企業は、深刻化している環境問題や社会的課題に対処するために引き続き重要であると考えています。私たちは、これらの課題や問題に対処できる強力な企業が今後数年間の勝者になると考えています。

(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2023年3月末の組入銘柄から運用チームの関心事や関わった企業に関連する銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。本資料では、ベイリー・ギフォード・インパクト投資ファンドを「ポジティブ・チェンジ」、ベイリー・ギフォード・インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)を「ポジティブ・チェンジ(予想分配金提示型)」といいます。また、これらを総称して「当ファンド」といいます。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

長きにわたる調査と着目分野

2023年の短期的な市場環境についての洞察は限られています。代わりに、さまざまな情報源を活用して、今後10年以上の投資機会について学ぶことを私たちは重視します。たとえば、私たちはオランダの学者ヨハン・ショット教授によって設立されたディープトランジションズ研究プロジェクトと緊密に協力し、社会を根本的に変える一連の変化を調査しています。私たちの調査は、3つの分野で新しいアイデアを発掘し続けています。

①医療の新時代

遺伝子解析の急激なコスト低下によって、病気の診断、治療、予防は変革の時代に突入していることを示しています。私たちが注目している新世代の先駆的な企業は、遺伝子解析コスト低下の大幅な追い風の恩恵を受けるとみています。

②エネルギー転換

エネルギーシステムの構造変化は重要で、多くの具体的な投資機会をもたらします。私たちの研究には、持続可能な鉄鋼メーカー、長距離EVバッテリーを製造する

ための新しいアプローチ、およびそれらのバッテリーを完全にリサイクル可能にする方法が含まれます。これらの事業は、過去10年間で市場で活躍した企業の事業よりも資本集約的である傾向があります。社会に与えるインパクトは明らかであることが多いですが、私たちはこれらの事業の長期的な投資収益の可能性について引き続き考え続けています。

③金融包摂

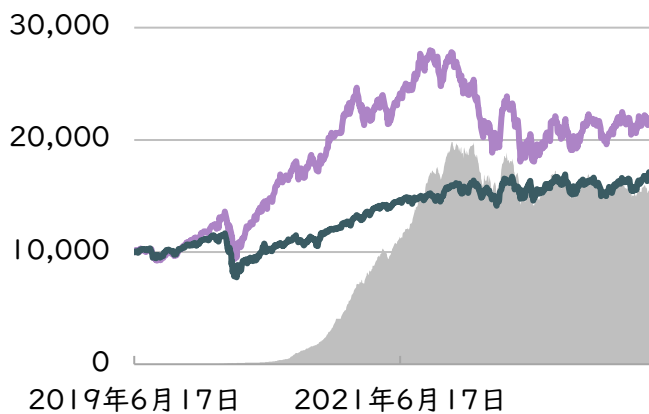
個人や企業が手頃な価格で適切なタイミングで金融商品にアクセスできることは、貧困をなくし富の共有を促進するための基盤となりえます。現在の銀行システムは時代遅れであり、低所得の顧客にとっては多くのコストがかかりすぎており、そこに変化が起きているとみています。モバイルテクノロジーの改善により、多くの銀行口座を持たない成人の口座開設にまつわる多くの障壁を減らすことが可能になってきています。

(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ) リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

設定来の基準価額等の推移

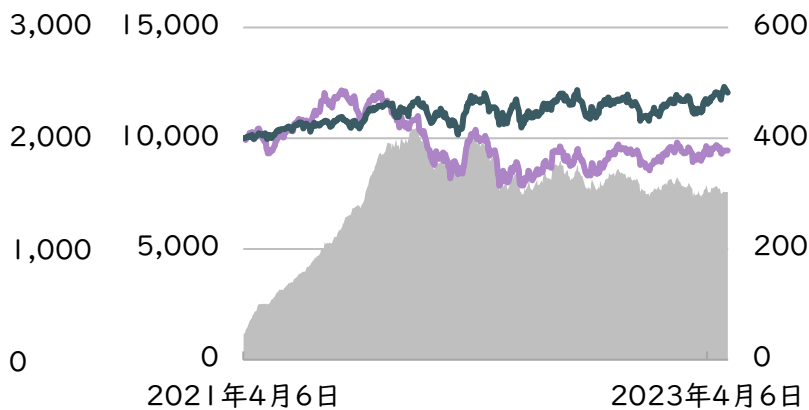
■ ポジティブ・チェンジ

(期間: 2019年6月17日~2023年5月8日)



■ ポジティブ・チェンジ(予想分配金提示型)

(期間: 2021年4月6日~2023年5月8日)



■ 純資産総額(億円)【右軸】 ■ 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】 ■ 参考指数【左軸】

基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)を使用し、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2023年1-3月の市況動向と ポジティブ・チェンジの運用状況について

■ 市況動向とポジティブ・チェンジの運用状況（2023年1月～3月）

【市況動向】

1月：米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことなどをを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースが減速するとの期待などから、グローバル株式市場は上昇しました。

2月：米金利が上昇したことやFRBによる利上げ継続への懸念が高まったことなどから、グローバル株式市場は下落しました。

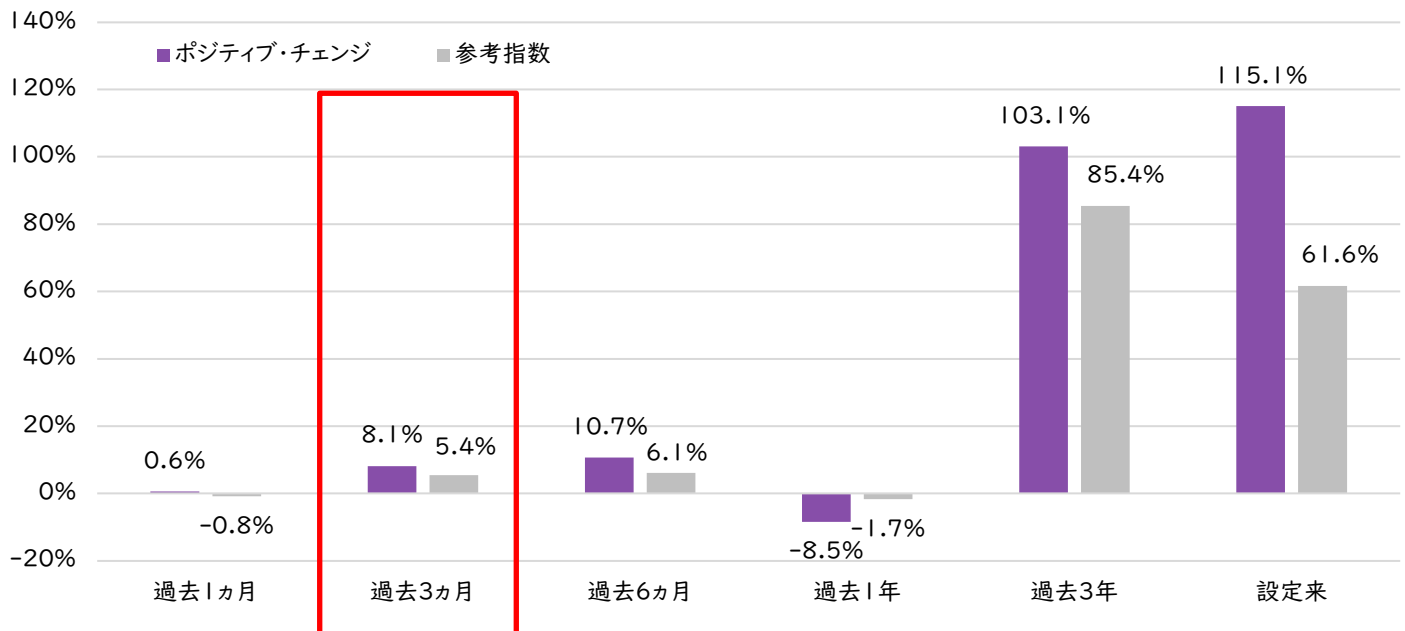
3月：米シリコンバレー銀行の経営破綻やスイスの大手金融機関であるクレディ・スイス・グループの経営懸念を受けた欧米金融システム不安から、グローバル株式市場は下落する局面があったものの、欧米当局の金融安定化への姿勢などによる金融システム不安の後退や、米国における利上げへの懸念が後退したことなどをを受けて、グローバル株式市場は上昇しました。

【ポジティブ・チェンジ】

上記のような市況変動を背景に、2023年1月～3月のポジティブ・チェンジの騰落率は+8.1%となりました。

ポジティブ・チェンジの期間別騰落率

（期間：2019年6月17日～2023年3月31日）



・各期間の騰落率は、2023年3月31日から遡って計算しています。

ポジティブ・チェンジは、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。設定来のポジティブ・チェンジの騰落率は、10,000を起点として計算しています。参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）を使用し、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。参考指数は、ポジティブ・チェンジのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2023年1-3月の寄与度上位・下位5銘柄と インパクト・テーマ

寄与度* 上位・下位5銘柄（2023年3月末時点での過去3ヵ月）



上位5銘柄

	銘柄	寄与度(%)	インパクト・テーマ
1	メルカドリブレ	3.2	平等な社会・教育の実現
2	ASMLホールディング	1.7	平等な社会・教育の実現
3	ショッピングファイ	1.5	平等な社会・教育の実現
4	デュオリンゴ	1.3	平等な社会・教育の実現
5	テスラ	1.3	環境・資源の保護



下位5銘柄

	銘柄	寄与度(%)	インパクト・テーマ
1	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	-0.8	医療・生活の質向上
2	モデルナ	-0.8	医療・生活の質向上
3	アブセセラ・バイオロジクス	-0.3	医療・生活の質向上
4	ユミコア	-0.2	環境・資源の保護
5	ディア	-0.2	環境・資源の保護

（出所）ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

*寄与度：当ファンドの主要投資対象である外国投資法人に対する概算の寄与度（期間リターンと平均ウェイトから算出）

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当該期間における寄与度上位・下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。

インパクト・テーマのご紹介

平等な社会・教育の実現



課題：所得格差の拡大・富の偏在の強まり

課題解決策

- 情報や教育へのアクセスに対する障壁を取り除く
- イノベーションを可能にする
- 教育、トレーニング

貧困層の課題解決



課題：経済停滞、自然災害

課題解決策

- 基本的な資源へのアクセス
- 金融包摂

環境・資源の保護



課題：気候変動・食料や水などの基礎資源の不足

課題解決策

- 技術投入と炭素排出量の削減
- 環境・資源に関連するイノベーション
- インフラ（社会基盤となる施設）への投資

医療・生活の質向上



課題：慢性疾患の増加、医療格差、幸福感の欠如

課題解決策

- 病気についての理解を深める
- 優れた医療（診断、治療、予防）の提供
- 医療制度の効率性向上

（出所）ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
インパクト・テーマの概要はイメージであり、すべてを網羅するものではありません。また、2023年3月末時点の内容であり、将来変更する場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※後記の「本資料に関してご留意いただきたい事項」をご確認ください。

2023年1-3月の基準価額にプラス・マイナスに影響した銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

寄与度
上位

メルカドリブレ

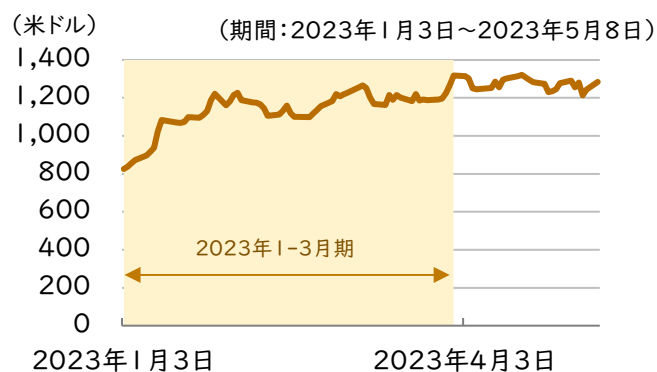
【国・地域】ブラジル

【インパクト・テーマ】平等な社会・教育の実現

【組入順位/比率】1位/8.0% (2023年3月末時点)

- 中南米（ラテンアメリカ）で電子商取引（eコマース）事業やモバイル決済サービスを展開しています。
- 2022年の売上高は、初めて100億米ドルを超えました。eコマース事業は好調に推移し、特にブラジルとメキシコで大きく成長しました。また、フィンテック事業も引き続き好調で、2022年10-12月期の決済総額は360億米ドルに達し、取引件数は前年同期比で63%増加しました。

■ 株価の推移



寄与度
上位

テスラ

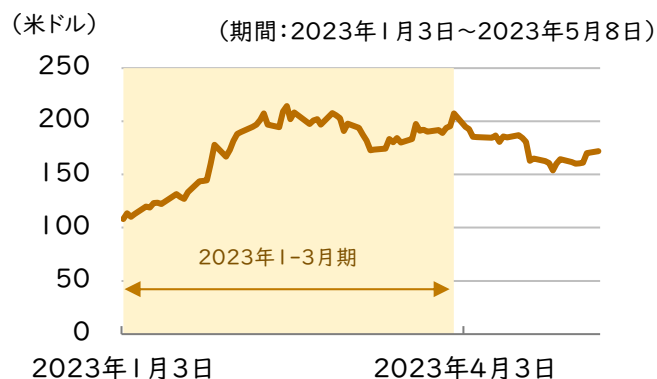
【国・地域】アメリカ

【インパクト・テーマ】環境・資源の保護

【組入順位/比率】16位/2.9% (2023年3月末時点)

- 電気自動車の製造・販売を手掛け、再生可能エネルギー発電やエネルギー貯蔵事業も行っています。
- 2022年の純利益は約130億米ドル、納車台数は約130万台とともに過去最高を記録しました。原材料や商品コストの上昇は、自動車業界の利益率に影響を及ぼしますが、同社は自動車業界では依然として高い利益率の水準を維持しています。

■ 株価の推移



寄与度
下位

アルナイラム・ファーマシューティカルズ

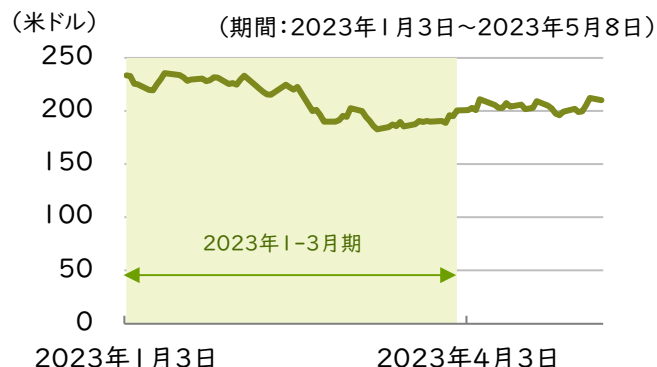
【国・地域】アメリカ

【インパクト・テーマ】医療・生活の質向上

【組入順位/比率】9位/4.1% (2023年3月末時点)

- RNA干渉（RNAi）に基づく医薬品を開発し、遺伝性疾患・心血管などのアンメット・メディカル・ニーズ*の対応に重点を置いています。
- 2022年10-12月期決算にて、1株当たり利益がマイナスであったことなどが嫌気され、株価が下落しマイナス寄与となりました。しかし、2022年の製品売上高は、前年比35%増加の8.94億米ドルと良好でした。

■ 株価の推移



*いまだ有効な治療法がない疾患に対する医療ニーズ

(出所) Bloombergのデータ、企業HP、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域、テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、テーマを勘案し、寄与度上位・下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2023年1-3月の基準価額にマイナスに影響した銘柄のご紹介 ～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～ 2023年1-3月の運用状況

寄与度
下位

ユミコア

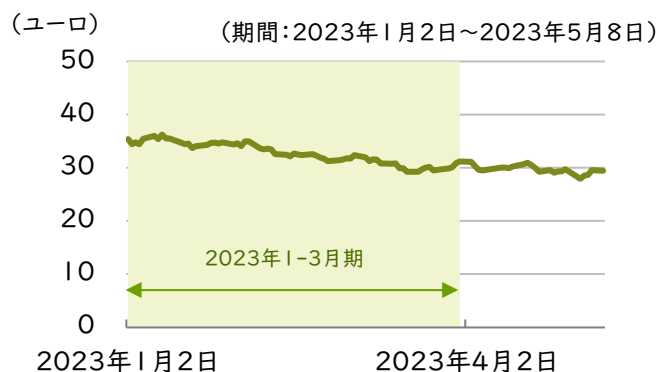
【国・地域】ベルギー

【インパクト・テーマ】環境・資源の保護

【組入順位/比率】14位/3.0% (2023年3月末時点)

- 自動車触媒や二次電池用材料、希少金属リサイクルなどの事業を展開しています。
- 二次電池材料部門を支えるための継続的な投資が業績に対して重石となること等が株価下落の要因と考えられます。長期的には、電気自動車の普及に伴い、正極材の需要も大きく伸びると予想されます。

■ 株価の推移



(出所) Bloombergのデータ、企業HP、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域、テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、テーマを勘案し、寄与度下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

主な売買動向

2023年1-3月では、新規購入、完全売却銘柄はありませんでした。



購入

なし



売却

なし

(ご参考) ポジティブ・チェンジ戦略代表ファンドの売買回転率および平均保有期間 (1年、ローリング)

売買回転率

15.1 %

平均保有期間

6.6 年

(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
平均保有期間は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドの2023年3月末までの1年間の売買回転率(年平均)の逆数を使用しています。売買回転率とは、株式売買額をポートフォリオの時価総額で除したものです。売買回転率は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのデータです。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

投資対象ファンド*における組入比率（2023年3月末時点）

*当ファンドの投資対象ファンド：ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

組入上位10銘柄

【2023年3月末】

（組入銘柄数：34銘柄）

銘柄	国・地域	業種	テーマ	比率
1 メルカドリブレ	ブラジル	一般消費財・サービス	平等な社会・教育の実現	8.0%
2 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	平等な社会・教育の実現	6.9%
3 TSMC（台湾セミコンダクター）	台湾	情報技術	平等な社会・教育の実現	5.4%
4 モデルナ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.2%
5 ディア	アメリカ	資本財・サービス	環境・資源の保護	4.8%
6 ショッピングファイ	カナダ	情報技術	平等な社会・教育の実現	4.6%
7 デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	4.6%
8 バンク・ラヤット・インドネシア	インドネシア	金融	貧困層の課題解決	4.1%
9 アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	4.1%
10 ハウジング・デベロップメント・ファイナンス	インド	金融	平等な社会・教育の実現	4.1%

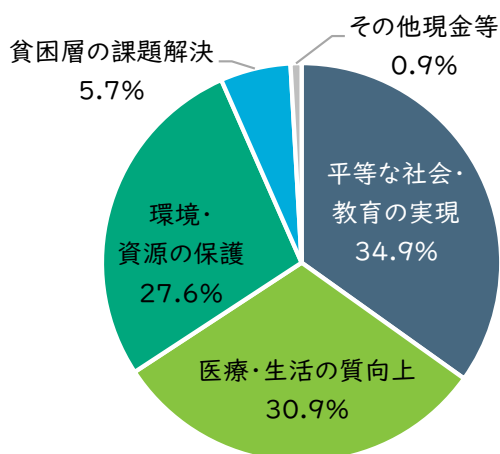
※2022年12月末で上位10銘柄に含まれていなかった銘柄に色付け。

【2022年12月末】

（組入銘柄数：34銘柄）

銘柄	国・地域	業種	テーマ	比率
1 モデルナ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	6.6%
2 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	平等な社会・教育の実現	5.9%
3 ディア	アメリカ	資本財・サービス	環境・資源の保護	5.9%
4 メルカドリブレ	ブラジル	一般消費財・サービス	平等な社会・教育の実現	5.6%
5 アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.3%
6 デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.2%
7 TSMC（台湾セミコンダクター）	台湾	情報技術	平等な社会・教育の実現	4.9%
8 バンク・ラヤット・インドネシア	インドネシア	金融	貧困層の課題解決	4.6%
9 ザイレム	アメリカ	資本財・サービス	環境・資源の保護	4.3%
10 ハウジング・デベロップメント・ファイナンス	インド	金融	平等な社会・教育の実現	4.2%

インパクト・テーマ別組入比率



組入上位10業種

業種	比率
1 ヘルスケア	25.6%
2 情報技術	19.7%
3 一般消費財・サービス	14.5%
4 金融	13.6%
5 資本財・サービス	11.0%
6 素材	11.0%
7 公益事業	3.4%
8 コミュニケーション・サービス	0.4%
9 -	-
10 -	-

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	40.5%
2 ブラジル	10.0%
3 デンマーク	9.2%
4 オランダ	6.9%
5 カナダ	5.5%
6 台湾	5.4%
7 インドネシア	4.1%
8 インド	4.1%
9 ベルギー	3.0%
10 ドイツ	2.8%

（出所）ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域、テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード社 長期投資の視点 ～相対的に堅固なファンダメンタルズ～

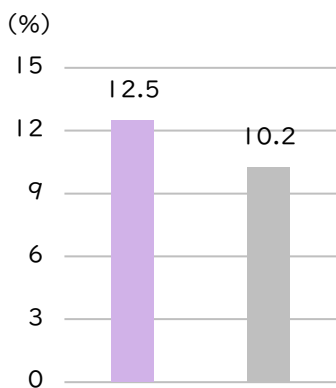
保有銘柄のファンダメンタルズ（企業の財務状況）は引き続き相対的に堅固だと考えます。ポートフォリオ保有銘柄のフリー・キャッシュフロー（企業が自由に使用できる資金）成長率、財務基盤の強さ、将来への成長投資は高い水準を示しています。ベイリー・ギフォード社では、株価は長期的にはファンダメンタルズに沿って動くと確信しており、ポートフォリオのファンダメンタルズが相対的に堅固なことは心強いことだと考えています。

下記は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に堅固なファンダメンタルズ（2023年3月末時点）

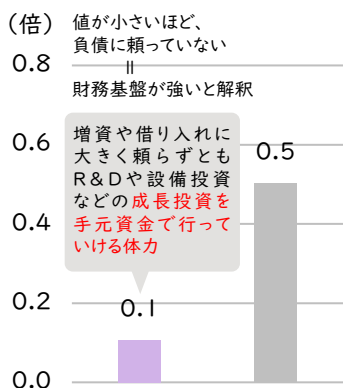
フリー・キャッシュフロー成長率：
企業価値の中長期的な成長に結びつけられるか？

= 5年間の成長率（年率）



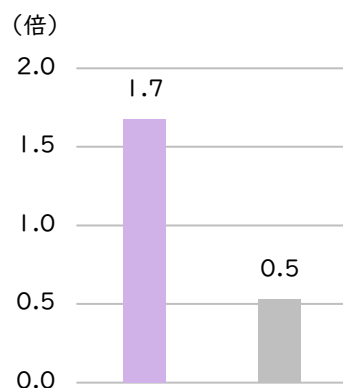
財務基盤の強さ：財務基盤は強固か？

$$= \frac{\text{純負債（負債 - キャッシュ）}}{\text{資本}}$$



資本配分：将来の成長に投資しているか？

$$= \frac{\text{資本的支出 - 減価償却 + 研究開発}}{\text{自社株買い + 配当}}$$



■ ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンド ■ （ご参考）全世界株式

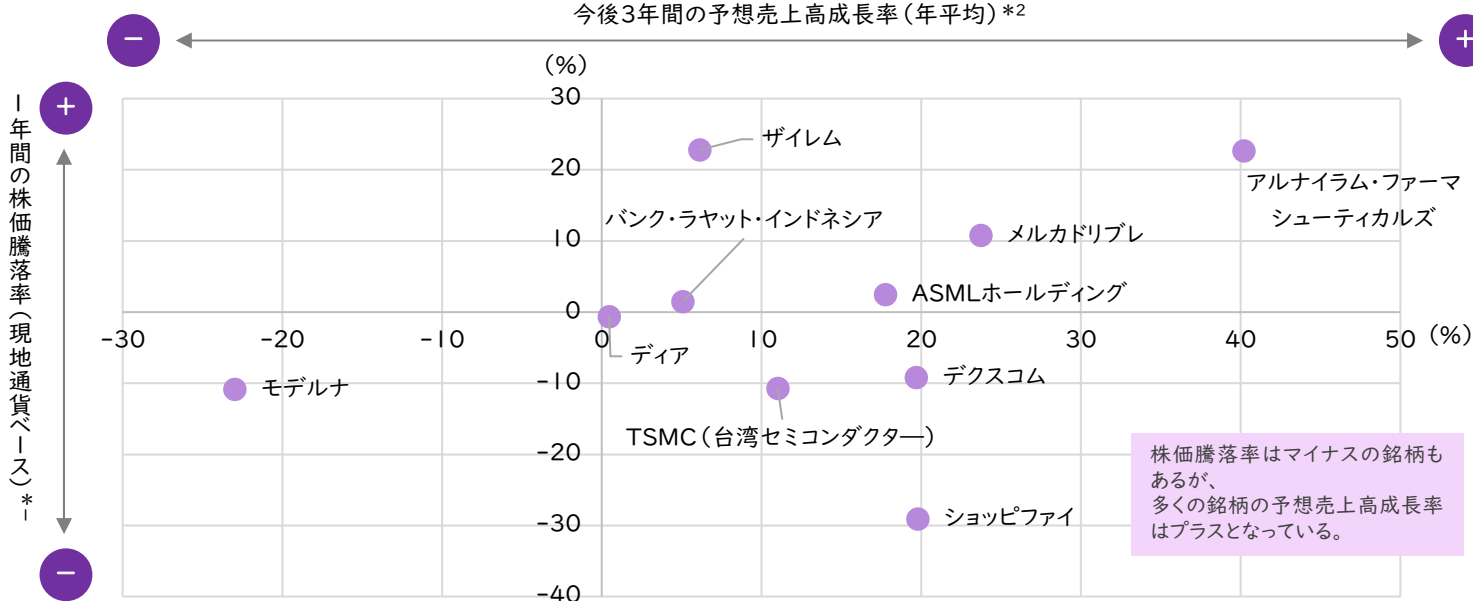
（出所）ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

データは米ドルベース、除く金融セクター。フリー・キャッシュフロー成長率は5年前と比較したものを加重平均して算出。

全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

組入上位銘柄（2023年3月末時点）の株価騰落率と予想売上高成長率

今後3年間の予想売上高成長率（年平均）*2



（出所）Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

*1 2022年3月末時点と2023年3月末時点の株価を使用して算出。なお、当ファンドの組入上位銘柄は、2023年3月末時点のものであり、1年間継続して保有していることを示すものではありません。

*2 各銘柄の会計年度ごとに算出（2023年5月26日時点のBloomberg予想値）。データが取得できない場合は、次に比率が高い銘柄を掲載しています。

上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。



ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型） 目的・特色

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1. 好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。

- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
- DR（預託証券）とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
- 国や地域、業種、企業規模に捉われず、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で成長が期待される銘柄を厳選して投資を行います。
- 持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、現状と望ましい社会との間でのギャップが大きく、またそうしたギャップが問題視されていると判断した分野を「インパクト・テーマ」として認識します。これに沿って重要な社会的課題の解決に資する事業活動を、公正かつ誠実に行う企業の中から、投資機会を発掘します。
- 銘柄選定にあたっては、ファンダメンタルズ分析に加え、独自のインパクト分析*によってその事業活動がインパクト・テーマに沿った社会的インパクト（社会的変化）をもたらすかを判断し、評価します。

* 経営者（企業）の意思、製品・サービスのインパクト、ビジネス・プラクティス（事業活動の方法）の3つの観点からの分析

2. 好ましい社会的インパクトの促進と投資判断に資するため、投資先企業に対し継続的なエンゲージメント（企業との対話）を行うとともに、達成された社会的インパクトを継続的に評価します。

- インパクト・テーマに沿った投資を通じ、好ましい社会的インパクトをもたらすために、次の取り組みを行います。
- 投資先企業に対し継続的なエンゲージメントを行うことで、事業活動を通じてもたらされる好ましい社会的インパクトの促進に努めるとともに、エンゲージメントで得られた洞察を投資判断に活用します。
- 各投資先企業がその製品やサービスを通じ、インパクト・テーマに沿ってどのように好ましい社会的インパクトをもたらしたのかにつき、継続的に評価し、投資判断に活用します。

3. 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドは、運用の権限をベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドに委託します。
- ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社です。
- ベイリー・ギフォード&カンパニーは1908年に創業の100年以上にわたる株式運用経験を有する資産運用会社です。なお、投資先企業へのエンゲージメントや社会的インパクトの継続的評価については、ベイリー・ギフォード&カンパニーが行います。

4. 原則として、為替ヘッジは行いません。

- 原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド（予想分配金提示型） 目的・特色

ファンドの目的・特色

ファンドの特色

5. 「ポジティブ・チェンジ」は、年1回の決算時（6月25日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。「ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）」は、毎月の決算日（毎月25日（休業日の場合は翌営業日））の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

「ポジティブ・チェンジ」

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

「ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）」

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、以下に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※ 分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※ 基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合等は、テーブル通りの分配ができないことがあります。

※ 上記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド（予想分配金提示型） 収益分配金に関する留意事項・投資リスク・ファンドの費用

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの費用

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%（税抜 3.00%） 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	■当該ファンド 日々の純資産総額に対して、 年率1.4630%（税抜 年率1.3300%） をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 （マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。） ■実質的な負担 ファンドの純資産総額に対して 年率1.5180%程度（税抜 年率1.3850%程度） ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託（管理）報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。ポジティブ・チェンジについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

【本資料で使用している指数について】

●全世界株式:MSCI オールカントリー・ワールド インデックス
指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●GICS（世界産業分類基準）:Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor’s）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称：ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド

（2023年5月31日時点）

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○		○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第6号	○			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長（登金）第1号	○			
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○		○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第37号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第47号	○		○	
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第17号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○			○
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第63号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第175号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○			○
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○		○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○		○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称：ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

（2023年5月31日時点）

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第43号	○		○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社愛媛銀行	登録金融機関 四国財務局長（登金）第6号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第16号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○			○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長（登金）第3号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○			○
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号	○			○
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufig.jp/>

※ 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセット
マネジメント株式会社に变更します。

当ファンドはバイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資

【本資料に関してご留意いただきたい事項】

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。